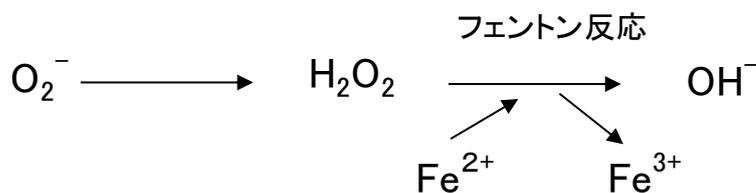


アテローム動脈硬化症と α リポ酸

α リポ酸は血管機能を改善し、アテローム動脈硬化症性プラークを減らす。

- ① α リポ酸は、金属イオンをキレートしてフェントン反応による OH^- 発生を阻害することにより、ミトコンドリアにおける脂質の過酸化を阻害する。



- ② α リポ酸はアンギオテンシン II が活性化させたNADPHオキシダーゼの働きを調整して活性酸素を減じるだけでなく、AT1受容体をブロックすることにより、アンギオテンシン II によって引き起こされる炎症を阻害する。

- 1、マクロファージ、単球、T細胞の浸潤を阻害して、プラークの進展を抑える。
- 2、NF κ Bを阻害して炎症性のケモカイン、サイトカイン、成長因子を減少させる。
- 3、 α リポ酸はプラークによって生じた単球と血管内皮の反応を抑制し、T細胞性の細胞接着分子を減少させる。
この結果、大動脈のマクロファージの蓄積物や大動脈の細胞接着分子が減少する。

- ③ α リポ酸は血中のTC、LDL-C、酸化LDL、Lp(a)を減少させアポリポ蛋白質A、HDLを増加させる。